

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。

幼児教育センター

TAKARA 宝っこだより 11

平成30年(2018年)5月

ゴールデンウィークもあっという間に過ぎたように思います。お休みは、何だか普段より早く過ぎていくように感じるのは私だけでしょうか。さて、先日テレビ放送の中で「若者言葉」というのが気になりました。「言葉」も使い手によって分類されるのかと、少し不思議に思いました。その時の若者言葉は「わず」でした。さて、この「わず」が意味する内容とは？「わず」を「WAS」と書くと何だかわかりますよね。be動詞「am」「is」の過去形、そういえば、中学生の時に学習しました。この若者言葉の「わず」は過去形を表し、「～した」「～行った」というような内容だそうです。例えば、「昨日、神戸わずした」とか「パンケーキわずした」などと使うようです。「昨日、神戸に行った」「パンケーキを食べた」という意味だそうです。

日本語は、大きく日本で生まれ育った『大和言葉』、中国から取り入れた『漢語』、さらに中国以外の国々から入ってきた『外来語』の3つに分かれ、例えば万葉集に収められた歌はわずかな例外はあるものの、ほぼすべては大和言葉だそうです。どのことばも心に染みるのは、日本語がもつ語感が、日本の風土の中で生まれ、豊かな表現世界を表してきたからだと言われていいます。

この太古の長い歴史と文化の中で、つながってきた「言葉」が、若者言葉に変化しつつあることに、戸惑いとびっくり、世の移り変わりにすんなりと馴染めない気持ちを抱きました。

さて、私が現場にいた頃、花びらをつぶして色水遊びをしていた子どもが出来上がった色水を「見て！」と私のところに持ってきてくれました。子どもは自分で作れた！自分で頑張った！という気持ちを「見て！」の一言に大いに込めています。その言葉と気持ちを受け止めながら、私は「何を見たらいい？」とあえて子どもに問いかけます。そうすると子どもは、「紫の色になったところを見て」とか「グレープジュースみたいになったよ」とか「かすが入っていないからきれいよ」とか……。自分でできた色水をより豊かな言葉で表現しようとしています。私は、それを自分の五感で受け止め子どもに返すように心がけています。まずは、目で見て、そして匂いを嗅ぎ、太陽に透かしてみたりと……。ここで、気を付けているのは、「すごい！」「きれい！」の一言で評価しないようにしていることです。「すごい！」「きれい！」は便利な言葉ですが、何が「すごいのか、きれいなのか」を具体的に言葉で言えないことで、ついついこの言葉を使ってしまいがちです。これは、私が保育をしていた時に指摘されたことでした。

それ以降、子どもたちに掛ける言葉の難しさや重さ・深さを実感しています。そして何よりも、子どもへの言葉がけで大事なものは、**否定語でなく肯定語、その子どもの存在を大切にす温かな言葉**です。幼児期は若者言葉ではなく、温かな言葉で、心を豊かにしていきたいものです。

いいとこ いっぱいみつけよう！
毎月11日は、ほめほめデー！



もうすぐやってくる**11日**にはぜひぜひ、ほめほめシャワーをお願いします！
宝塚市教育委員会 幼児教育センター TEL：0797-77-2132